

FN-SSマスタをFN2.0マスタに変換する手順

FN-SSマスタをFN2.0マスタに変換する手順です。

1. 直接入力の場合

(1) 名称マスター

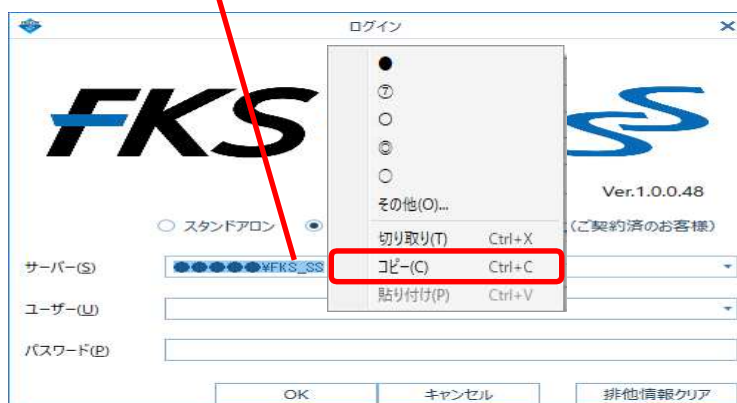
① 外部入出力 – SS→2.0 データ入力 – 直接入力 – 名称マスター を選択します。



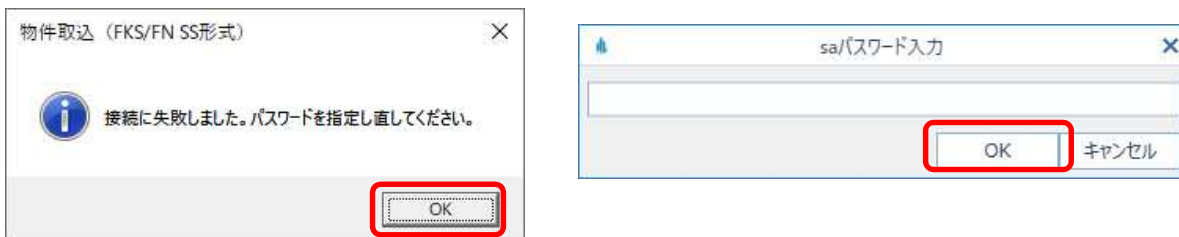
② サーバー名を入力して、接続ボタンをクリックします。



サーバー名は、スタンドアロンの場合は、「localhost¥FKS_SS」になります。
クライアントサーバの場合は、SSのログイン画面のサーバー名をコピーして貼り付けします。



接続ボタンをクリックしても接続に失敗する場合は、メッセージを閉じてFN-SSを一度起動した後に、再度接続してください。



③ 入力する名称マスターにチェックを付けて、OKボタンをクリックします。

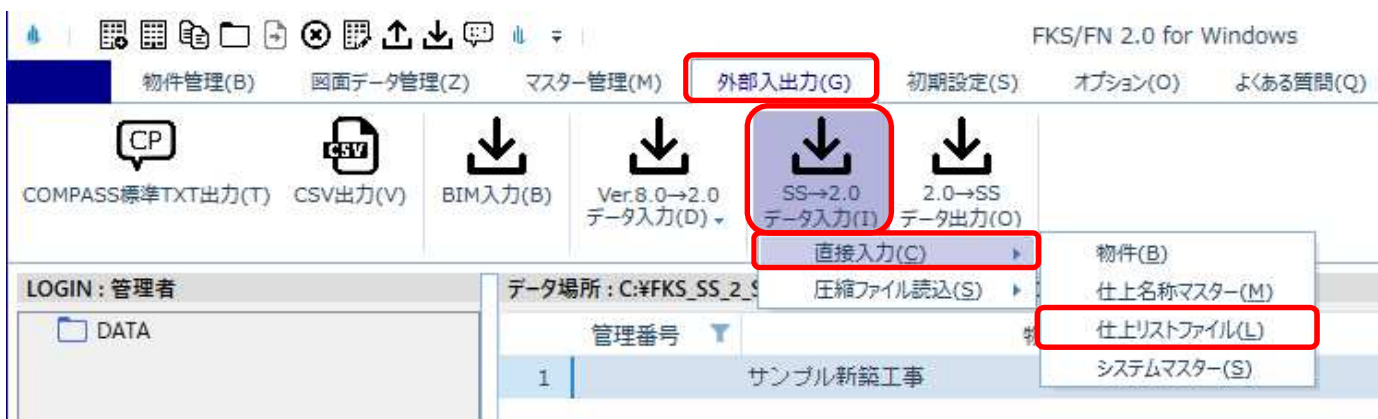


④ 入力が開始され、終了するとメッセージが表示されます。

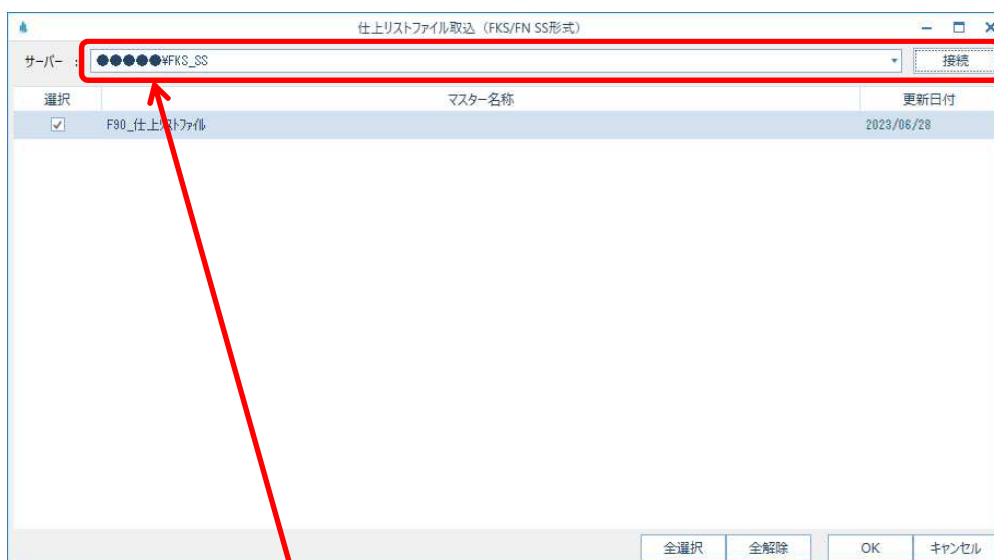


(2) 仕上リストファイル

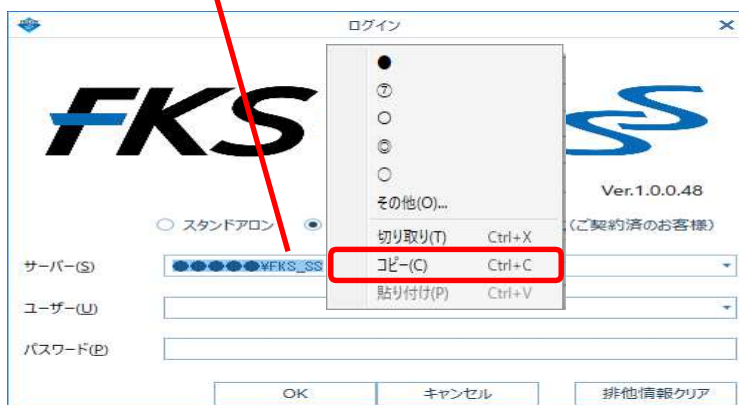
① 外部入出力 – SS→2.0 データ入力 – 直接入力 – 仕上リストファイル を選択します。



② サーバー名を入力して、接続ボタンをクリックします。



サーバー名は、スタンドアロンの場合は、「localhost¥FKS_SS」になります。
クライアントサーバの場合は、SSのログイン画面のサーバー名をコピーして貼り付けします。



③ 入力する仕上リストファイルにチェックを付けて、OKボタンをクリックします。



④ 入力が始まると、終了するとメッセージが表示されます。



(3) システムマスター

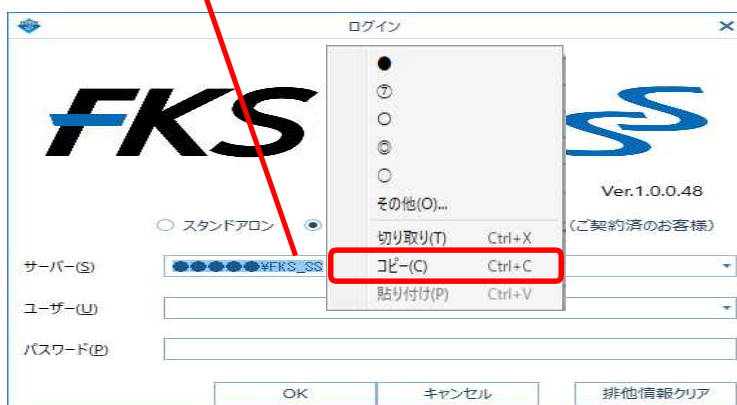
① 外部入出力 - SS→2.0 データ入力 - 直接入力 - システムマスター を選択します。



- ② サーバー名を入力して、接続ボタンをクリックします。



サーバー名は、スタンドアロンの場合は、「localhost%FKS_SS」になります。
クライアントサーバの場合は、SSのログイン画面のサーバー名をコピーして貼り付けします。



- ③ 入力するシステムマスターにチェックを付けて、OKボタンをクリックします。



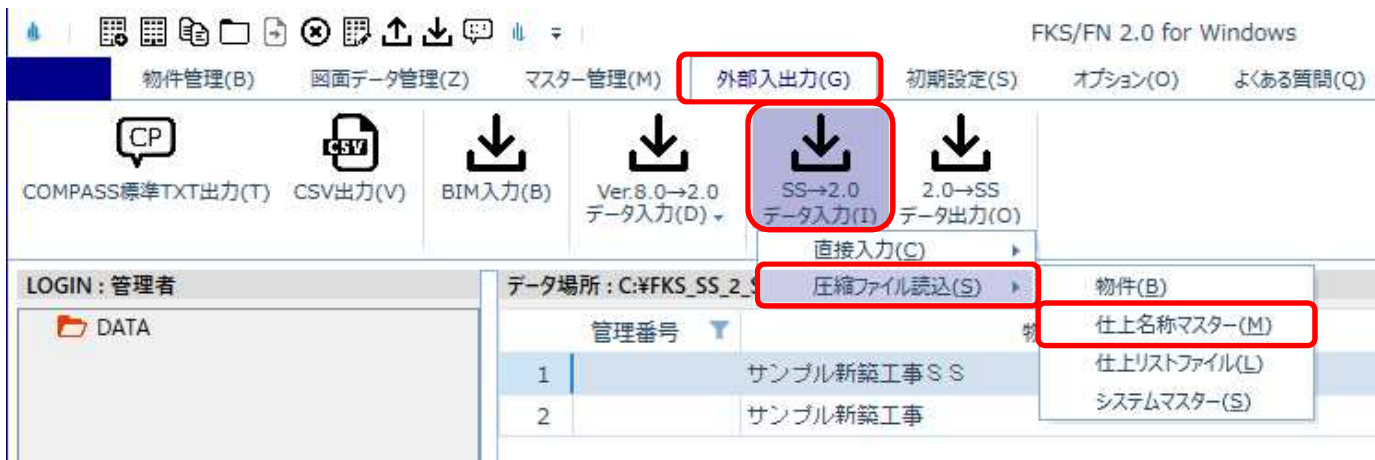
- ④ 入力が始まされ、終了するとメッセージが表示されます。



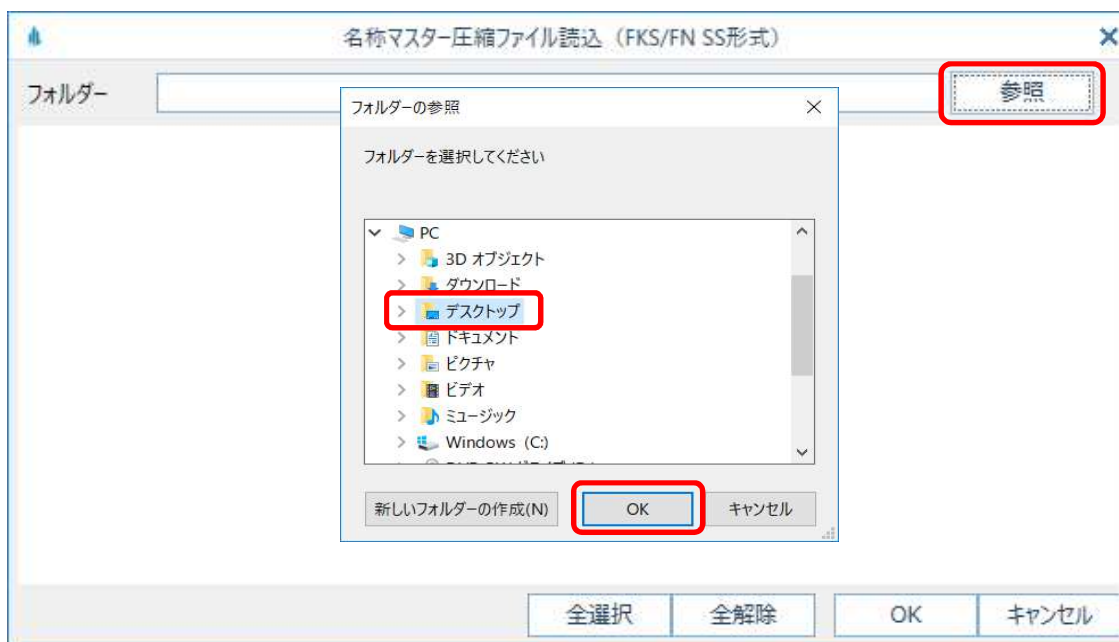
2. 圧縮ファイル入力の場合

(1) 名称マスター

① 外部入出力 - SS→2.0 データ入力 - 圧縮ファイル入力 - 名称マスター を選択します。



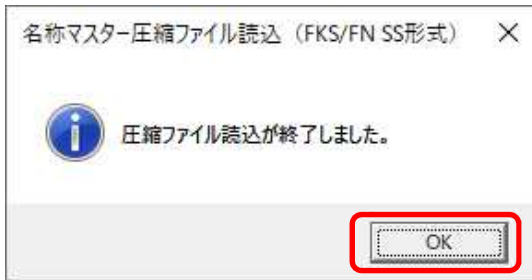
② 参照ボタンよりフォルダーの参照画面を表示して、圧縮ファイルがあるフォルダを選択し OK ボタンをクリックします。



③ 入力する名称マスターにチェックを付けて、OK ボタンをクリックします。

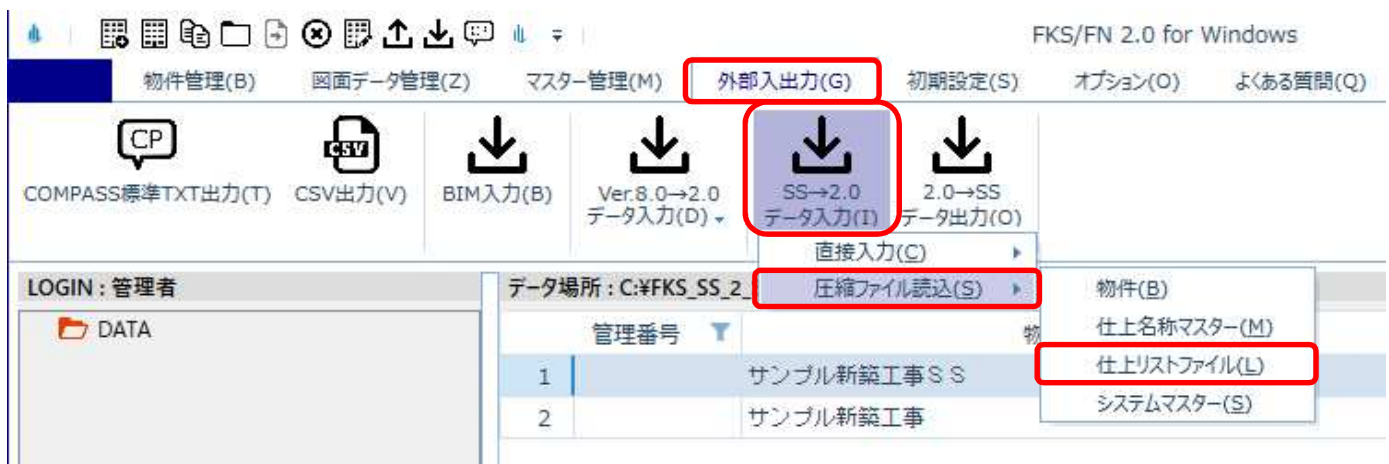


- ④ 確認後に入力が開始され、終了するとメッセージが表示されます。

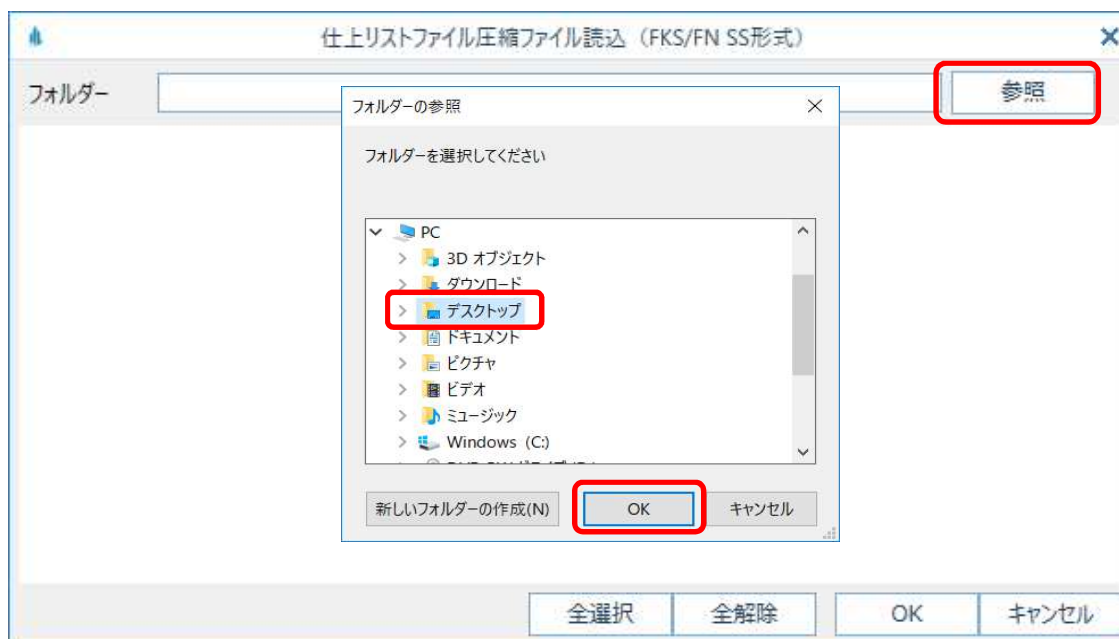


(2) 仕上リストファイル

- ① 外部入出力 - SS→2.0 データ入力 - 圧縮ファイル入力 - 仕上リストファイル を選択します。



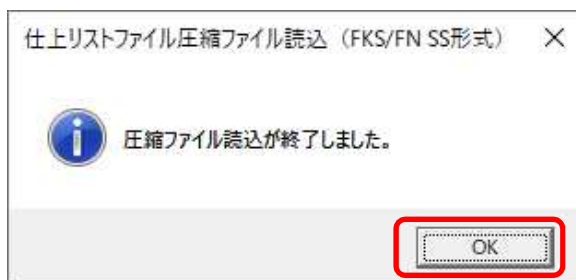
- ② 参照ボタンよりフォルダーの参照画面を表示して、圧縮ファイルがあるフォルダを選択し OK ボタンをクリックします。



- ③ 入力する仕上リストファイルにチェックを付けて、OKボタンをクリックします。

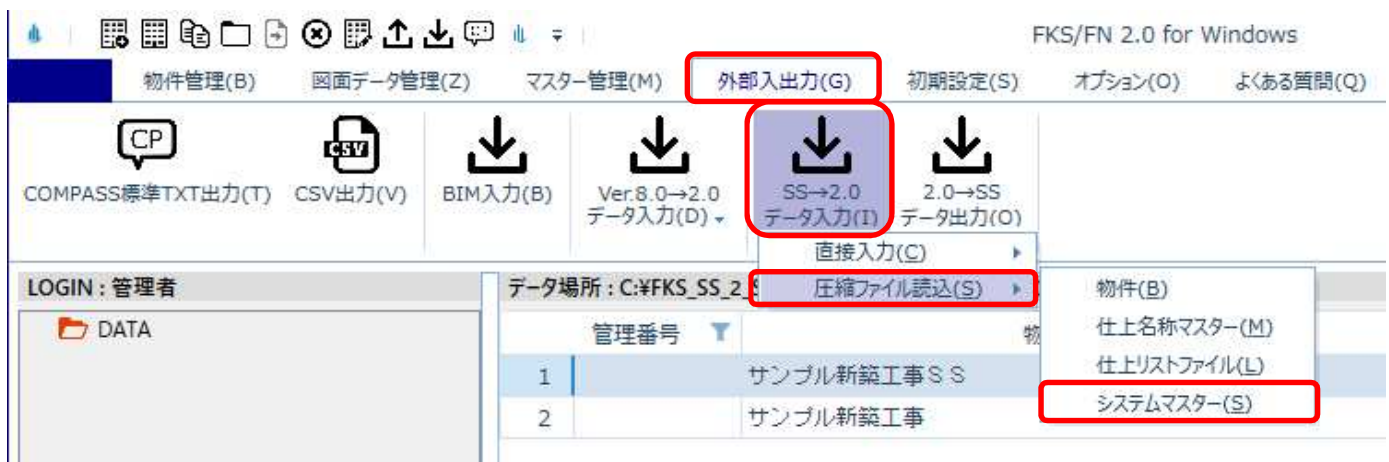


- ④ 確認後に入力が開始され、終了するとメッセージが表示されます。

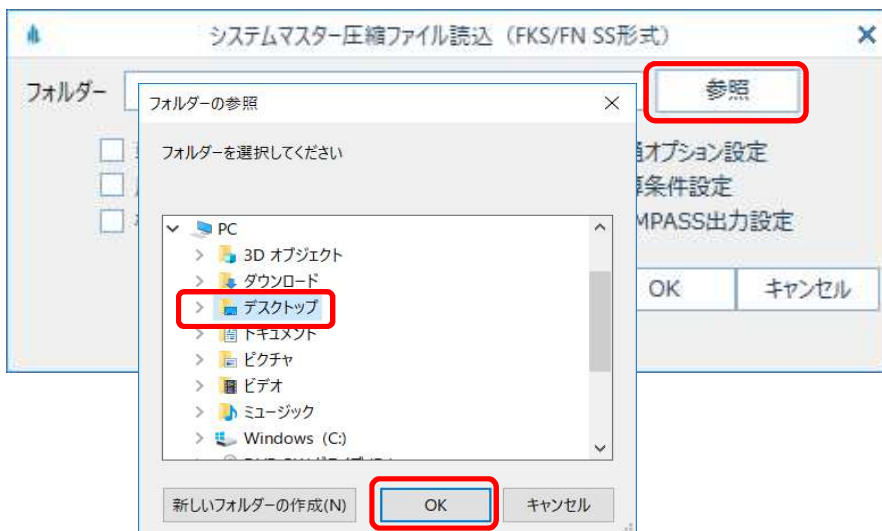


(3) システムマスター

- ① 外部入出力 - SS→2.0 データ入力 - 圧縮ファイル入力 - システムマスター を選択します。



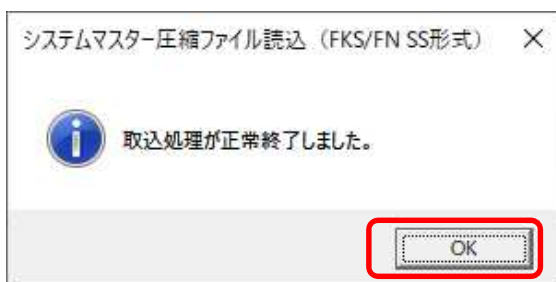
- ② 参照ボタンよりフォルダーの参照画面を表示して、圧縮ファイルがあるフォルダを選択しOKボタンをクリックします。



- ③ 入力するシステムマスターにチェックを付けて、OKボタンをクリックします。



- ④ 確認後に入力が始動され、終了するとメッセージが表示されます。



以上で終了です。
他に不明な点がございましたら、弊社窓口までお問合せ下さい。